

2022. 1. 14

<配信枚数2枚>

報道関係者 各位

■PEP Conference 2021のご案内■

“探究”から“研究”へ -英語教育の果たす新たな役割を考える-

日 時：1月29日(土) 13:00~18:00

場 所：オンライン (Zoom ウェビナー)

立命館大学の英語発信能力強化を目指すプロジェクト発信型英語プログラム(Project-based English Program 以下、PEP)は、大学の英語教育が果たす新たな役割を検討するカンファレンス「PEP Conference 2021」をオンラインで開催いたします。

PEPは、学生が自らの興味・関心に基づいてプロジェクトを立案し、ICTを活用して情報をまとめ、英語で発表する正課の探究型英語授業です。2008年から開始し、生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部の4学部で展開しています。10年以上にわたる実践を通じて、大学の英語教育の可能性を模索してきました。

社会が激しく変化・複雑化し、不確実で予測不能なかで、答えの無い問いを發し、自らその答えを考え、探る力が求められています。学びにおいても世界中でその育成が重視され、日本では2022年度より、高等学校の学習指導要領で、従来「総合的な学習の時間」と呼ばれていた科目が「総合的な探究の時間」に改められ、探求型学習が推進されます。

本カンファレンスでは、探究型学習を経験する学生に対して、英語授業を通じて、どのように知的好奇心を刺激し、ICTを駆使しながら、学生の成長を促すことができるか、そして、高度な専門知に基づく研究活動につなげることができるかを考えます。

大学の英語教育のあり方や探究型学習を中心に、多様な知見を集約し、参加者の皆様と議論したいと考えています。

記

日 時：2022年1月29日(土) 13:00~18:00

場 所：オンライン (Zoom ウェビナー)

対 象：現職の英語教員、大学教員志望の学生、大学職員志望の方、
教育機関で管理職に就いておられる方

参 加 費：無料

申 込 方 法：以下の URL よりお申し込みください。【1月28日(金)13:00 締切】

<https://conf.pep-rg.jp/>

主 催：立命館大学 プロジェクト発信型英語プログラム (PEP)

※プログラム詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:遠藤 TEL. 075-813-8300

別紙

■当日のプログラム（予定）※敬称略

1. オープニングトーク

「私たちは何者か？」を改めて問う

山中 司（立命館大学生命科学部 教授）

2. 基調講演

PBL の学習効果・授業支援・評価 ー同志社大学プロジェクト科目の事例を通してー

山田 和人（同志社大学教授/PBL 推進支援センター 初代センター長）

3. 講演① ドルトン東京学園が実践する「学習者中心」の探究的な学び

安居 長敏（ドルトン東京学園中等部・高等部 副校長）

4. 講演② 小中高大院一貫教育が目指すもの

坂 一平（学校法人立命館一貫教育部 副部長）

5. 講演③ 探究のバトンを研究に繋げる ー研究架橋型英語プログラムとしての PEPー

木村 修平（立命館大学生命科学部 准教授）

6. 事例紹介およびパネルディスカッション

(1) 事例紹介①「国際サイエンス・フェアを通じた高等学校での教育実践」

武田 菜々子（立命館高等学校 英語科 教諭）

(2) 事例紹介②「明和高校における英語を使った探究活動について」

仙石 智津子（愛知県立明和高等学校 英語科 教諭）

(3) 事例紹介③「プロジェクト発信型英語教育から学んだこと：研究者の観点から」

川口 高德（立命館大学薬学部 助教）

(4) パネルディスカッション

安居 長敏、仙石 智津子、川口 高德、武田 菜々子、坂 一平、木村 修平（司会）